



【その他、お寄せいただいたご意見の一部ご紹介】

アンケート ※原文のまま記載しています。

♡うれしかった手助けやことば

- ・カラオケ店：「また、きてください」といわれました。やさしく教えてくださいました。(回答者：生徒)
- ・コンビニ店：「どんどん(息子さん)一人で買いに来てください。」
- ・理容師さん：やさしい言葉かけで息子が興味を持ったもの(霧吹きやブラシなど)をやらせてくれて、空間の認知もゆっくり見守ってくれました。
- ・携帯販売店：本人の説明が上手にできなかったのですが、スタッフの方が丁寧に対応して下さい、嬉しかったです。話しをすると知的障害であることがわかるとは思いますが、「説明してもわからない」という感じがなく、丁寧に説明してくださいました。
- ・レストラン：バギー使用の子供と昼食時、スタッフの方が入りやすいテーブルを案内してくれました。

◇困ったり嫌な思いをしたりしたこと

- ・電車：ちょっと混んでいたのなんでこんな時間に車いす?という顔をされました。やむを得ず乗っているのスムーズに乗せてほしいです(何台か待ちました)。
- ・電車や駅：動作がおそかったり、座り込んでしまう息子が舌打ちしたり、「子どものしつけはキチンとしろ」と言われたりしました。理解してほしいです。
- ・エレベーター：先に車いすでエレベーターに乗っていて、詰めるのはむずかしいのに端に寄れ!と言われました。本当に困っている人だけ利用して欲しい。2・3回乗るのを待つ事も多いです。
- ・バス：障がい者手帳を見せ、当時妊娠中でお腹も大きいのに、「ベビーカーはダメです」と子どものバギーを降ろすのを手伝ってくれず、スロープすら出してもらえませんでした。
- ・公園：うちの子だけ公園遊びの仲間に誘われてもらえませんでした。障害の子のことを理解してもらおうのはすごく難しいとつくづく思いました。

インタビュー

♡うれしかった手助けやことば

- ・小児科：先生が「お母さん一人で抱え込まず、なんでも周りに相談しなさい」といつてくれたのがうれしかったです。
- ・幼稚園：入園にあたり、お子さんの車いすは障害とは思わない、いろいろなお子さんがいる中での一人である」との説明を受け、そのような姿勢を貫いてくれました。
- ・副籍交流：子どもが3年生に上がる際、担任の先生の配慮で2階の3年教室ではなく1階の多目的スペースで交流を行うことにしてくれました。
- ・バス：いつも友達と乗っていますが、その友達がいない時、降車ボタンを自分で押す勇気が出せず、それに運転手さんが気づいてくれて降ろしてくれました。

◇困ったり嫌な思いをしたりしたこと

- ・障害者等用駐車場：本当に必要な私たちが使えないことがよくあります。
- ・エレベーター：健常者は便利ツールとして使いますが、車いす使用者にとっては必需品で絶対に必要なものののに、健常者が先に乗ってしまいます。
- ・トイレ：ベビー用のベッドはあれだけ浸透してきたのに、大きいベッドはとでも少なく困ります。
- ・児童館：小さい頃の刺激はとても大事で、家では出来ないこと、広いスペースだから出来ることなどあり、同じ年齢の子と過ごすしたり、ママ同士の関係も築けるのに、近くの児童館は段差があって入れないのはとても残念です。

「なにか嫌なことに会おうと、もう行かないとなってしまうがちですが、施設側が一緒に考えようとしてくれれば、また行こうと思えるのではないのでしょうか。」

本区では平成27年度にバリアフリー基本構想(全体構想)を策定し、平成28年度は赤羽地区、平成29年度は滝野川地区、平成30年度は王子地区の地区別構想の策定に取り組んでいます。地区別構想の策定にあたっては、区民によるまちあるき点検を毎回実施しており、来年度の王子地区も予定しています。北区ホームページでは、このまちあるき点検の参加者を募集したり、策定にあたってはパブリックコメントを受け付けていたりしますので、北区のバリアフリー整備に向けて、今後とも皆さまの積極的なご参加・ご協力をよろしくお願いたします。

平成30年3月発行

発行 東京都北区まちづくり部都市計画課
東京都北区王子本町1-15-22 TEL03-3908-9152 FAX03-3908-8336
刊行物登録番号29-2-000

東京都 北区

まちのバリアフリーに向けて

区内の王子特別支援学校・王子第二特別支援学校・北特別支援学校の生徒・保護者の皆さまからお寄せいただいた「まちなかのバリア」に対するご意見と今後に向けたバリアフリー整備

外出先で「うれしかった手助けやことば」・「困ったり嫌な思いをしたりしたこと」に関するアンケート調査・インタビュー調査結果のご報告(平成29年7～10月実施)

平成30年3月

北区バリアフリー基本構想策定協議会

元気づらぎの更衣室・入館ゲート・ウォーターライダー

「家族で介助ができる更衣室があるとプールに行けるのに…」



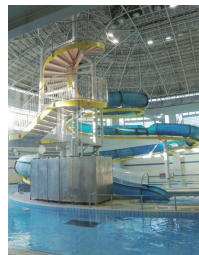
障害者用更衣室をご利用できます。窓口でお申し出ください。

「知的障害の息子が一人で入館ゲートを通るのは難しいのですが…」



車いすの出入口へご案内できます。職員からの声かけは、失礼にあたる場合もあるので、お声がけください。

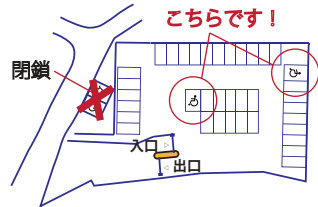
「やりたい！というウォーターライダー、親同伴はダメですか？」



二人以上ではスライダーの枠から飛び出してしまう可能性もあり、安全に配慮して禁止としています。

中央公園の障害者等用駐車場

「身障者用の駐車場が無くなってしまった!？」



不適正利用が多かったため、2台分を公園駐車場内へ移設しました。利用方法は、北区ホームページまたは、出口精算機脇の掲示物をご確認ください。

北区ホームページアドレス
<http://www.city.kita.tokyo.jp/d-ro/jutaku/koen/chushajo.html>

北区の公園整備

「親子で一緒に楽しめる遊具があったらいいのに…」



魅力ある公園づくりに向けて、バリアフリーにより配慮した遊具の設置を進めています。

中央図書館前のバス停の雨よけ

「コミュニティバスのバス停に屋根がなく、車いす使用者や片まひの方は雨の日困ります」



現状では、公園管理上のルールで上屋の設置が難しい状況ですが、再度担当する課に改善を呼びかけていきます。

ノンステップバスの運行

「王子駅～北特別支援学校～帝京病院までのルートは、病気の人や杖をついた人もいるのに、ノンステップバスが少ないのでは…」



この路線の管轄営業所のノンステップバスの導入率は92%です。すべてノンステップバスになるよう、今後も車両の入れ替えを進めています。(国際興業バス)

区の障害福祉課の窓口

「手続きの際、子どもを待たせられるキッズ・スペースのような場所があるとよいのですが…」



手狭なため難しい状況です。なお怪我等をされないよう、「丸イスではなく、ひじかけ付きのイスを用意する」「窓口まわりの物を整理する」「職員による見守り」等の対応を行っています。

小学校の校庭開放・利用

「小学校の校庭で遊べるのは、地域の子もたと触れ合える貴重な機会。土曜も利用できますか？」



土曜の校庭利用は「わくわく☆ひろば」に登録された方の利用のみですが、日曜日の校庭開放は、だれでも利用できます。

←教育広報紙「くおん」第75号(平成29年4月)も併せてご覧ください。

北区ホームページアドレス
<http://www.city.kita.tokyo.jp/k-seisaku/kosodate/kyoiku/kuon/documents/kuon75.pdf>

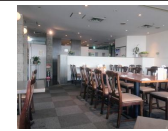
北とびあの飲食店

「レストランに行きたい！車いすでも入れますか…」

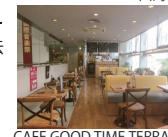
車いす使用者の方にも、ご利用いただいております。

テーブル天板の下面から床までの寸法

- ・キリンシティ 約64cm
- ・山海亭 約70cm
- ・喫茶店 約68cm (CAFE GOOD TIME TERRACE)



山海亭



キリンシティ

CAFE GOOD TIME TERRACE

移動支援サービス

「通学時の移動支援サービスがもっと利用しやすくなりませんか…」

本区では小学生以上のお子さんを対象に、一定条件のもとで通学や通所での移動支援サービスを受けられるようになりました。年々利用者は増えていますが、ヘルパー不足も課題になっています。

バギー/子ども用車いす

「ベビーカーとまちがわれて、バスや電車でいやな思いをしました…」

まちあるき点検や事業者との意見交換の中で体験していただき、認知度を上げられるよう、周知していきます。



地域力がある十条の商店街

「息子が一人で歩いても、何かあれば地域の方が助けてくれるので、とても安心です。」



商店街のコンビニでも、レジでゆっくりと対応してくれるなど、地域力を感じさせてくれます。

区民・事業者部会で意見交換

「職員さんや店員さんに、〇〇してほしいのですが…」



区民からの要望を事業者に直接伝え、どんな改善ができるか、意見交換する機会を設けています。



王子特別支援学校、王子第二特別支援学校、北特別支援学校の生徒・保護者の皆さまには、外出先で「うれしかった手助けやことば」・「困ったり嫌な思いをしたりしたこと」に関するアンケート調査およびインタビュー調査にご協力いただき、誠に有難うございました。

アンケートは116名の方から、またインタビューは9名の方にご協力いただき、多くのご意見をお寄せいただきました。その中から、環境改善に早速つなげていけそうなこと、もしくは整備が難しい状況にあることが分かったことなどを中心にご紹介いたします。

すべてのアンケート結果をご覧になりたい場合は、北区ホームページより、第2回北区バリアフリー基本構想策定協議会(平成29年10月6日開催)の資料をご参照ください。